

公民連携プラットフォーム

新たな協働の仕組みについて 意見を募集します

—— 問い合わせは、企画課公民連携担当へ。

この度、協働推進計画に基づき検討を進めてきた「公民連携プラットフォーム（以下「プラットフォーム」という。）」の仕組みがまとまりましたので、お知らせします。

今後は、5年4月の運用開始に向け、区民の皆さんからプラットフォームの仕組みについてご意見をいただき、ルール策定等に生かしていきたいと考えています。

プラットフォームとは

区では、区民、地域団体、大学や民間事業者など地域のさまざまな主体と連携・協力し、複雑化・高度化する地域課題を解決していきたいと考えています。

プラットフォームは、地域課題の解決のため、地域のさまざまな主体が出会い、それぞれが対等な立場で連携・協力することができる「場」です。

プラットフォームでできること

- 連携・協力する個人や団体を見つけることができます。
- あなたのアイデアを区の政策に生かすことができます。

意見募集期間 5年1月15日(日)まで

対象 区内在住・在勤・在学の方

回答方法 LoGoフォーム（右2次元コード）から回答

※LoGoフォームを利用できない方は、企画課（区役所東棟4階）へ
※後日、いただいたご意見（原則全文）は、区ホームページで公表します。全文公表を望まれない方は、その旨を書き添えてください。

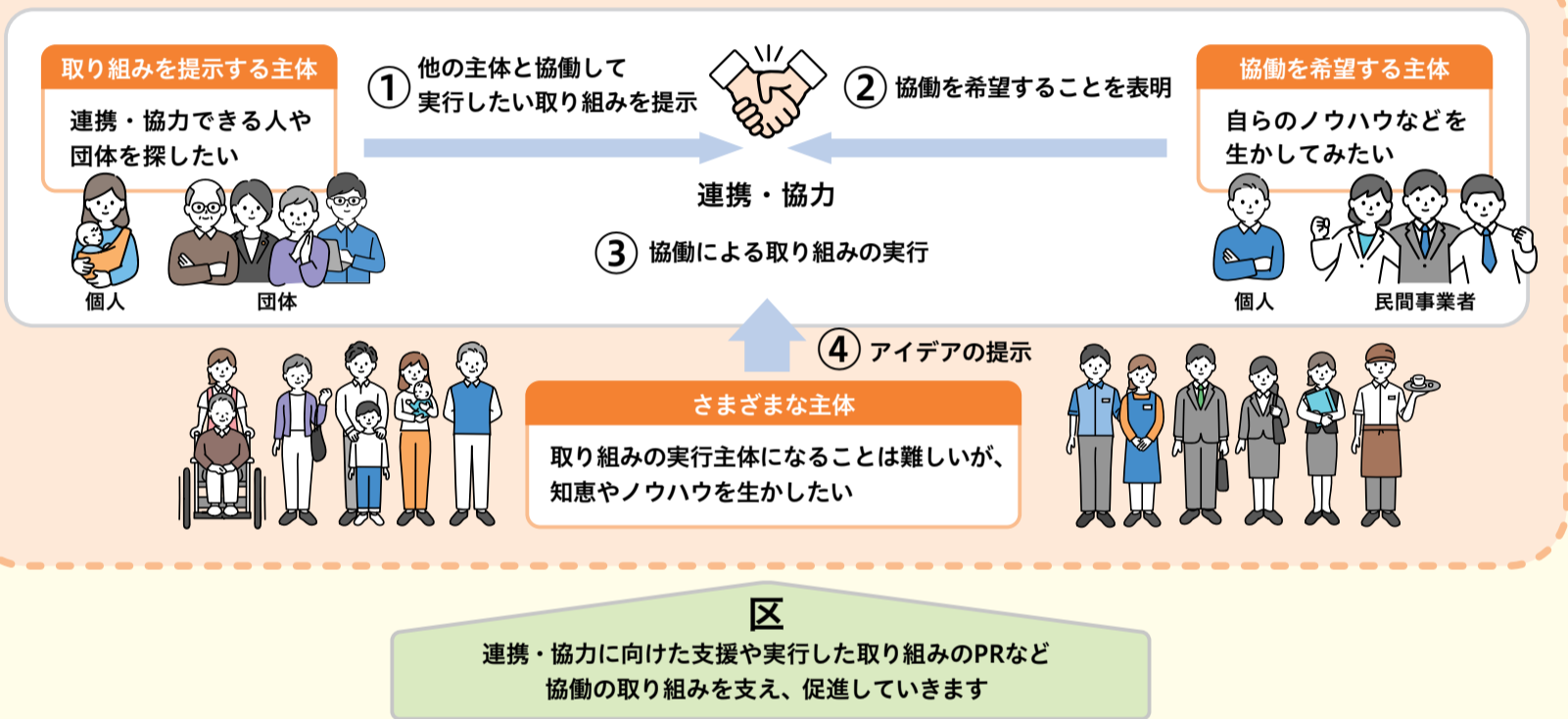


詳細な資料も、こちらから確認できます



プラットフォーム活用事例です！

地域のさまざまな主体（個人や地域団体等）



地震時の火災からあなたを守る

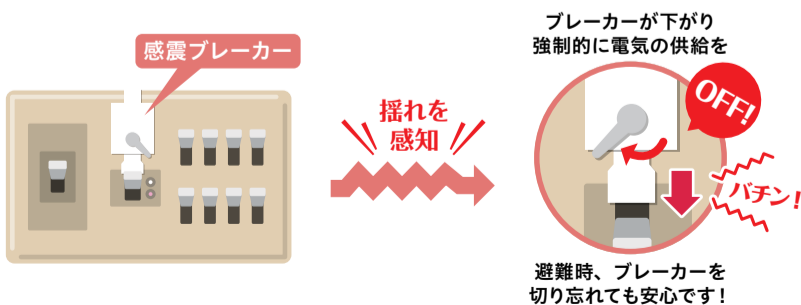
感震ブレーカーの設置を 支援します

地震時の電気火災、通電火災を予防するため、簡易型感震ブレーカーの設置を助成します。

—— 問い合わせは、防災課へ。

感震ブレーカーとは

震度5強以上の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落とし、電気を止める器具です。



対象者

- 一般対象者（設置費用2000円を自己負担）＝区内に居住または区内に家屋を保有している方（特例対象者を除く）
- 特例対象者（設置費用も区が負担）＝区内在住の方で、次の①～④のいずれかに該当する方
 - ① 65歳以上のみの世帯
 - ② 「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方がいる世帯
 - ③ 「難病患者福祉手当」を受けている方がいる世帯
 - ④ 地域のたすけあいネットワーク「地域の手」登録者がいる世帯

申請方法

申請書（防災課〈区役所西棟6階〉、区民事務所、図書館、地域区民センターで配布。区ホームページ〈右2次元コード〉からも取り出せます）を、5年2月28日（消印有効）までに防災課へ郵送・持参



注意事項

申請は一世帯につき1回のみ（器具のみのお渡しは不可）
※予算額に達した時点で受け付け終了。

広告

お悩みに分かりやすくアドバイスします
新高円寺駅から徒歩3分 詳しくはこちら



よろいばし すぎなみ
鰐橋法律事務所 杉並支所

03-5929-8966

弁護士法人鰐橋法律事務所（第二東京弁護士会所属）

※広告の内容については、各広告主にお問い合わせください。広告掲載のお問い合わせは広報課へ。

5年4月から

高校生等の医療費無償化を開始します

高校生等の医療費の自己負担額を助成する制度（通称：マル青）を開始します。12月下旬に申請が必要なお子さんがある世帯に申請の案内を送付します。**一部負担金・所得制限はありません。**また、本事業は区議会で審議される5年度当初予算案が成立した場合に実施されるものです。

詳細は、区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。



—— 問い合わせは、子ども家庭部管理課子ども医療・手当係 ☎5307-0785へ。

対象のお子さん

- ・杉並区に住所を有する高校生等（15歳に達する日の翌日以後の最初の4月1日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの方〈就学していない方を含む〉）
- ・日本の健康保険制度に加入している方

申請が必要な方

4年度現在、高校1・2年生相当の方（平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれ）

申請が不要な方

4年度現在、中学3年生相当で㊦医療証をお持ちの方（平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ）

※5年3月末に㊧医療証を送付します。

申請方法

電子申請・郵送または直接、子ども家庭部管理課子ども医療・手当係 ※区民事務所等では受け付けできません。

助成内容

保険診療に係る医療費の自己負担額を助成（差額ベッド代、健康診断、予防注射等の保険診療外の医療費、入院時の食事療養標準負担額は助成の対象外）

その他

- ・区から案内が届かない場合や学生寮に入居している等、お子さんと別居している場合は、お問い合わせください。
- ・配偶者からの暴力を理由に避難されている方は、ご相談ください。

税務署から確定申告に関するお知らせ

e-Taxが便利です



税務署では、e-Taxを利用した申告をお勧めしています。確定申告書の作成は、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」（上2次元コード）が便利です。画面の案内に沿って入力すれば税額まで自動計算されます。また、マイナポータル連携や過去の申告データを利用して自動入力することもできます。書面で提出した場合より、還付金を早く受け取ることができます（おおむね3週間）。

※4年分確定申告書等の作成は、5年1月以降に利用できます。

スマートフォンからの申告対象が追加されました

1月から、特定口座・上場株式等に係る譲渡損失もスマホ申告の対象となり、スマートフォンのカメラで給与所得の源泉徴収票を読み取り自動入力できる機能が追加されました。

5年1月には、青色申告決算書、収支内訳書の作成がスマホ申告の対象に追加されます。さらにマイナンバーカードの読み取りが1回のみでログインできるようになります（過去にマイナンバーカード方式で申告した方が対象です）。

目黒税務署 ☎3313-1131、荻窪税務署 ☎3392-1111

住み慣れた地域で安心して生活するために

在宅療養ブックを発行しました

区内の在宅医療を実施している医療機関等（医科・歯科・薬局）と、訪問サービスを提供する介護事業者の情報を掲載しています。医療や介護が必要になった時にぜひご活用ください。

▶ **配布場所** = 在宅医療・生活支援センター（天沼3-19-16ウェルファーム杉並内）、介護保険課（区役所東棟3階）、ケア24等
 目黒在宅医療・生活支援センター在宅医療・介護連携推進係 ☎5335-7317



5年1月から

軽自動車税関連手続きがオンライン化されます



—— 問い合わせは、課税課税務管理係へ。

軽JNKSにより車検の際の「納税証明書の提示」が原則不要になります（二輪車を除く）

軽JNKS（軽自動車税納付確認システム）とは

軽自動車税（種別割）の納付情報を軽自動車検査協会がオンラインで確認できるシステムです。これにより軽自動車（三輪・四輪）の車検の際に「納税証明書の提示」が原則、不要になります。

納税証明書の提示が必要な場合

- ・以下の場合は二輪車以外の軽自動車であっても納税証明書が必要となります。
- ・納付直後（3週間程度以内）で、軽JNKSに納付状況が反映されていない
- ・中古車の購入直後
- ・他の市区町村に引っ越した直後
- ・過去の軽自動車税（種別割）に未納がある

軽JNKS利用における注意点

納付後すぐに車検を受ける場合は、金融機関やコンビニ窓口でお支払いください。支払完了時点で納税証明書を取得できます（納付書の右側が納税証明書になります）。

これまで、モバイルレジ、Pay-easy、スマートフォン決済アプリで納期限内に納付された方には、軽自動車税（種別割）納税証明書（継続検査用）を郵送していましたが、5年度から軽自動車（三輪・四輪）の納税証明書の郵送を廃止し、二輪の小型自動車の納税証明書のみ郵送します。

軽OSSにより軽自動車の新車購入時の手続きがオンラインでできるようになります

軽OSS（軽自動車ワンストップサービス）とは

パソコンからインターネットで24時間365日いつでも、軽自動車を保有するための各種手続きや、検査の申請や手数料等の納付を行うことができるサービスです。

軽OSS利用における注意点

- ・オンライン手続きができるのは新車購入時のみ
- ・二輪車、原動機付自転車、小型特殊自動車は軽OSSの対象外
- ・パソコンからのみ利用可能で、スマートフォンやタブレットからは利用不可

詳細は、地方税共同機構ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。





杉並区の主な出来事




新基本構想のスタート、区初の女性区長誕生、区制施行90周年など、さまざまな出来事が今年もありました。区の主な取り組みなどを振り返ります。

2月
February


南北バス「すぎ丸」の累計乗客数が2000万人を突破!

区の南北交通を補完するコミュニティバス「すぎ丸」は、平成12年にスタートし、現在はけやき路線、さくら路線、かえで路線を運行しています。



7月
July

杉並区初の女性区長 岸本聡子区長就任



4月
April

新たな杉並区基本構想に基づく取り組みを開始


概ね10年を展望した杉並区が目指すまちの姿「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現するための取り組みがスタートしました。

みどり豊かな住まいのみやこ

9月
September

新区長と区民との対話集会が始まる

岸本区長就任後初となる区民との対話集会「第1回聴くオフ・ミーティング」を開催。「杉並らしい子どもの居場所づくり」をテーマに区民20名と意見交換しました。また、10月からは西荻・高円寺地域で、道路を考える対話集会「さとことプレスト」を開始しました。




「杉並区教育ビジョン2022」等がスタート

「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げ、区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるためのよりどころとなるよう、杉並の教育の基本的な考え方を示しました。

10月
October

杉並区区制施行90周年

昭和7年に旧杉並町、旧和田堀町、旧井荻町、旧高井戸町の4町が合併し、杉並区が誕生してから10月1日で90周年を迎えました。



5年連続待機児童ゼロ達成

荻窪子ども家庭支援センターの開設

杉並保健所内に、地域型で2カ所目となる荻窪子ども家庭支援センターを開設しました。

11月
November

グリーンスローモビリティの実証実験を実施

誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けて、荻窪駅南側エリアでグリーンスローモビリティの実証実験を行いました。




杉並区議会基本条例の制定・施行

議会における責任と役割を明確に示すための条例を制定し、議会運営や議員活動のルールを定めました。

阿佐谷地域区民センターの移転・改築 阿佐谷けやき公園の開園

みどりと調和した地域活性化の拠点として、阿佐谷地域区民センター等複合施設をオープンしました。阿佐谷けやき公園と一体的に整備し、屋上は立体都市公園となっています。




杉並区生活応援臨時給付金の受け付け開始

コロナ禍における物価高騰対策として、住民税が均等割のみ課税の世帯に対して区独自に5万円を給付することとし、その受け付けを開始しました。

5月
May

「杉並区環境基本計画」等の策定

環境分野の環境基本計画と、清掃分野の一般廃棄物処理基本計画を策定しました。ゼロカーボンシティ並びに循環型社会の実現に向けた取り組みを推進します。なお、区は3年11月に「杉並区ゼロカーボンシティ宣言」を表明しています。



▲杉並区環境基本計画等

12月
December

別府輝彦氏が名誉区民に(4面参照)

発酵学・応用微生物学の発展に多大な貢献をし、文化勲章を受章した別府輝彦氏が新たに名誉区民になりました。

地域区民センター協議会が企画する催し・講座など

コミュニティー通信

詳細・問い合わせは、各地域区民センター協議会へ
(月～金曜日午前8時30分～午後5時〈祝日、年末年始を除く〉)

毎月15日号に掲載

井草地域区民センター協議会
〒167-0022下井草5-7-22
☎3301-7723
🌐<https://www.igusahome.org/>
民謡と津軽三味線の魅力
📅5年1月16日(月)午後1時～3時 📍津軽三味線奏者・土生みさお 定員30名(抽選) 申込往復はがき(16面記入例)に手話通訳を希望の方はその旨も書いて、同協議会。または同協議会ホームページから申し込み/申込期限=5年1月5日 他長寿応援対象事業



プラネタリウム上映
📅5年1月22日(日)午前9時30分・10時30分・11時30分(各30分程度) 対象小学生 定員各12名(抽選) 申込同協議会ホームページから、5年1月11日までに申し込み 他協働=社会教育センター
豊かで多様な国インドの話
📅5年1月27日(金)午後1時～3時 📍ボンクシエ・プルヴァ 定員20名(抽選) 申込往復はがき(16面記入例)に手話通訳を希望の方はその旨も書いて、同協議会。または同協議会ホームページから申し込み/申込期限=5年1月10日 他長寿応援対象事業
…… いずれも ……
📍井草地域区民センター

高円寺地域区民センター協議会
〒166-0012和田1-41-10
☎3317-6614
🌐<https://www.koenji-kyogikai.org/>
高円寺の記憶
高円寺の昔を知る方からお話を聞きます。
📅5年2月2日(木)午前10時～11時45分 📍高円寺北区民集会所(高円寺北3-25-9) 郷土博物館学芸員 区内在住・在勤・在学の方ほか 定員30名(抽選) 申込往復はがき(16面記入例)で、同協議会。または同協議会ホームページから申し込み/申込期限=5年1月5日 他長寿応援対象事業

永福和泉地域区民センター協議会
〒168-0063和泉3-8-18
☎5300-9412
🌐<https://fukuizu.org/>
自分でできる足もみ講座
📅5年1月13日(金)午後1時～3時 📍同センター 正しい足の文化を創る会代表理事・亀井絹代 定員20名(抽選) 申込往復はがき(16面記入例)で、12月26日までに同協議会 他長寿応援対象事業



子どもたちの夢を応援したい方へ 「杉並区次世代育成基金」 活用事業助成に関する説明会

区では、「杉並区次世代育成基金」を活用し、その趣旨に合致した子どもたちのための事業を実施する民間事業者(NPO団体や任意団体等)にその事業費を助成しています。
5年度の事業助成に関する説明会を開催します。

📅5年2月1日(水)午後6時30分(1時間程度) 📍区役所第5・6会議室(西棟6階) 申込Eメール(件名は「説明会参加希望」)に氏名・電話番号を書いて、5年1月26日までに児童青少年課青少年係 jisedai-ikusei@city.suginami.lg.jp 同係 ☎3393-4760 他1団体2名まで。後日「説明会参加票」を送付

12月15日からの広報番組「すぎなみスタイル」のテーマは

みんなで“その時”に備える 杉並区総合震災訓練



いつ起こるともわからない巨大地震。「その時」に備えた日頃からの準備が大切なのはいうまでもありません。今回は、4年度杉並区総合震災訓練の様子をお伝えします。



- 視聴方法 ●
- ・YouTube杉並区公式チャンネル
- ・J:COM東京 地上デジタル11ch(午前9時・正午・午後8時・10時から毎日放送)



📍広報課

区民が創る情報サイト すぎなみ学倶楽部



激戦地杉並で楽しむ
こだわりラーメン

熱々のラーメンが恋しい季節です。区内には、歴史のある老舗店や行列の絶えない新店など、それぞれの個性で勝負するラーメンの名店がたくさんあります。「すぎなみ学倶楽部」では、区内のラーメン店を70軒以上紹介しています。食べたい一杯のご参考に!

詳しくは または



📍産業振興センター観光係 ☎5347-9184

すぎなみ学倶楽部とは?

区民ライターが区民目線で杉並の魅力を取材、執筆、記事にして公開している区公式情報サイトです。

8つのカテゴリーに分けて
すぎなみ情報を
紹介しているよ~



歴史

中島飛行機の軌跡や、都電杉並線の思い出、町の変遷など杉並の歴史を探究



文化・雑学

文化人のお気に入り散歩コースやゆかりの本、寺社、なみすけグッズなどを紹介



食

老舗の名物、隠れ家的カフェ、ラーメン店など、食の情報も満載

その他にもこんなコンテンツがあります

スポーツ 杉並発祥のスポーツや注目の競技、楽しみ方など幅広く紹介

産業・商業 戦禍を乗り越えた老舗企業・商店、起業家や職人も注目

ゆかりの人々 タレントや作家、知られざる偉人、地域活動者など区にゆかりのある人を紹介

自然 荻窪で発見された絶滅危惧種、区内で見られる野鳥、自由研究にも役立つ情報

特集 お花見ポイントや公園の紹介、水害・震災対策、教育、対談などの特集記事

詳しくは または



※申し込みは「広報すぎなみ」の発行日からとなります。
※申込期限に(消印有効)の記載がない場合は必着です。
※紙面上では市外局番「03」の表記を省略しています。